

令和4年度版
千曲市公共施設個別施設計画
歴史文化財センター編



令和4年3月
長野県千曲市

— 目 次 —

1. 計画策定の背景、目的と位置付け	
(1) 計画策定の背景と目的	1
(2) 計画の位置付け	1
2. 計画対象施設、計画期間	
(1) 対象施設	2
(2) 計画期間	2
3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題	3
4. 対策の優先順位の考え方と施設評価	
(1) 優先順位の考え方	3
(2) 施設評価	3
5. 個別施設の状態等（基礎調査）	
(1) 劣化度・老朽化度調査	3
(2) 利用状況等	4
6. 対策内容と実施時期（実施計画）	
(1) 再配置に関する基本方針	4
(2) 保全に関する基本方針	4
(3) 工程表	5
(4) 対策費用	5
7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて	
(1) フォローアップ及び実施体制	6
(2) 改訂に関する考え方	6

1. 計画策定の背景、目的と位置付け

(1) 計画策定の背景と目的

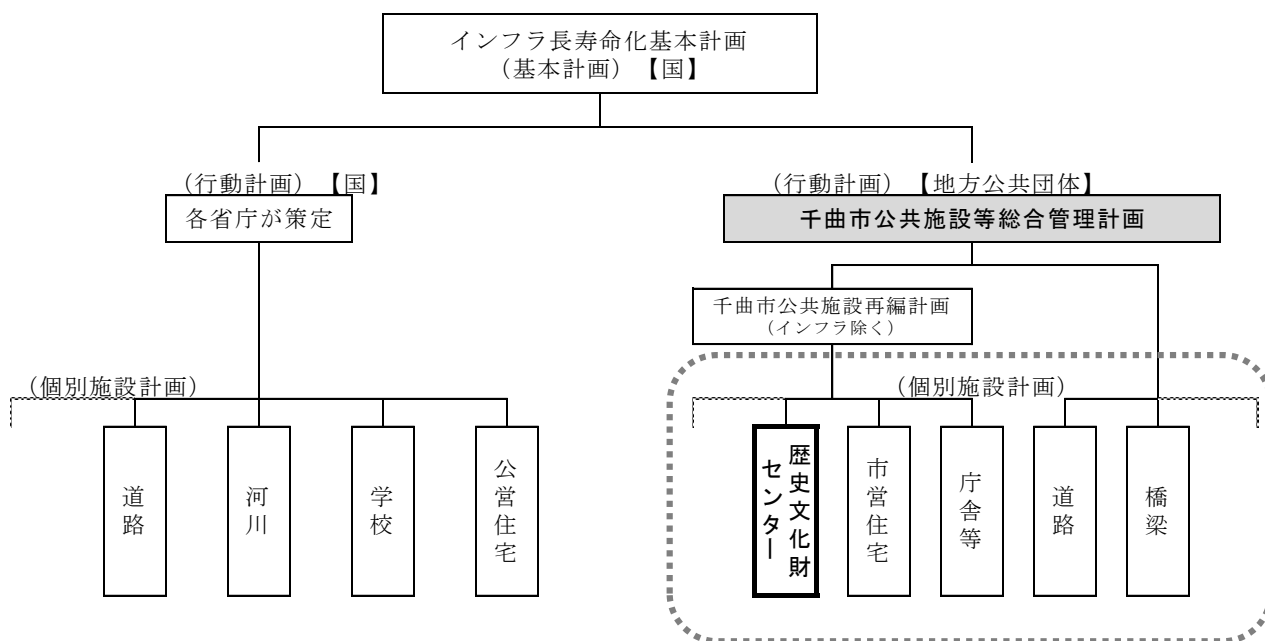
公共施設等の長寿命化対策については、平成 25 年 11 月に国において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、平成 26 年 4 月に地方公共団体においても公共施設等総合管理計画を策定するよう求められました。

本市においても、公共施設等の総合的かつ計画的な施設の維持管理を進めるうえでの基本的な方針として「千曲市公共施設等総合管理計画」を平成 28 年 3 月に策定しました。

「千曲市公共施設個別施設計画 歴史文化財センター編」は、「千曲市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、個別施設ごとの維持管理・更新等の対策の内容や実施時期などをまとめた計画として策定するものです。

(2) 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、本市における公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針として策定した「千曲市公共施設等総合管理計画」を最上位計画とし、総合管理計画と本計画とを橋渡しする「千曲市公共施設再編計画」を上位計画とします。



2. 計画対象施設、計画期間

(1) 対象施設

本計画は、本市が所有する公共施設のうち、以下の歴史文化財センター関連施設を対象とします。

No.	施設名	建物名	建築年月	経過年数	耐用年数	主構造	延床面積 (㎡)	備考
1	歴史文化財センター	本館	S52(1977).3	45	50	R C	945.00	
		付属棟	S52(1977).3	45	31	S	63.00	
		自転車置場	S52(1977).3	45	31	S	20.00	
2	千曲市役所粟佐分室		S45(1970).11	51	50	R C	1,059.59	
3	歴史文化財センター 上山田分室 (旧上山田庁舎)	本館	S52(1977).7	44	50	R C	1,984.53	
		増築部分	H15(2003).8	18	50	R C	7.96	
		倉庫	S44(1969).12	52	38	R C	108.24	

※経過年数…令和4年4月1日現在

※耐用年数…「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き(平成26年9月30日 総務省事務連絡)別紙3」及び「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)」により設定

※主たる構造…R C：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造



(2) 計画期間

本計画の期間は、令和3(2021)年4月から令和13(2031)年3月までの10年間とします。

3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題

【歴史文化財センター】

昭和 51 年度に長野県の保健所として建設され、平成 23 年に長野県から千曲市へと譲渡され現在に至っています。

譲渡にあたっての条件として、譲渡後 10 年間は歴史文化財センターとして使用することとされています。

【千曲市役所粟佐分室】

昭和 45 年に民間企業により建設され、昭和 62 年度に当時の更埴市が買い取り、市役所の事務所として使用していましたが、現在は主に歴史文化財センターの収蔵庫として使用されています。

施設の劣化が著しく、解体にあたっては吹付アスベストが各所に使用されており、解体工事に係る費用が過大となる見込みです。

【歴史文化財センター上山田分室（旧上山田庁舎）】

昭和 52 年度に上山田町役場として建設され、平成 15 年千曲市合併後は市役所上山田庁舎として、主に市役所経済部の事務所として使われましたが、令和元年に新市庁舎が建設され市役所機能が統合された後に、歴史文化財センターの移転予定先として、歴史文化財センターの管理となりました。現在は、分室事務所のほか、特別地方公共団体である六ヶ郷用水組合と、長野県農業共済組合更埴支所の事務所が入っています。また、令和 3 年度に千曲市上山田戸倉出張所として市民課上山田戸倉市民窓口係が開所しました。

歴史文化財センター事務所および収蔵庫として使用するにあたり、2 階以上の空調設備の整備を始めとした改装が必要となっています。また、職員配置の関係から消防・防犯設備の管理機器を現状の 2 階から 1 階に移すことが望ましい状況です。現在の歴史文化財センター及び粟佐分室等に収蔵されている資料について、その全てを収蔵するだけの面積がなく、資料の収蔵場所の確保が課題となっています。

4. 対策の優先順位の考え方と施設評価

(1) 優先順位の考え方

平成 31 (2019) 年 3 月に策定した千曲市公共施設再編計画で示したとおり、歴史文化財センター上山田分室（旧上山田庁舎）に歴史文化財センター及び収蔵庫としての粟佐分室の機能を集約させ、歴史文化財センター並びに粟佐分室は解体し、総量を縮減していきます。

(2) 施設評価

歴史文化財センターは建設から 44 年、粟佐分室は建設から 51 年を経過しており、また、耐震性を有していることが不明なことから、上山田分室への機能の集約が完了し次第、順次解体に着手します。

5. 個別施設の状態等（基礎調査）

(1) 劣化度・老朽化度調査

施設状況の的確な把握、改修等の時期を検討するため、目視による劣化状況調査を実施し、劣化状況を把握しました。

施設名	劣化状況の評価					劣化度	
	屋根	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備		所見・特記事項等
歴史文化財センター	B	B	C	B	B	内装の劣化が進んでいる	B
千曲市役所栗佐分室	C	C	C	-	-	アスベストが確認されている	C
歴史文化財センター 上山田分室	B	C	C	B	C	正面入口階段の劣化が著しい	C

※劣化度＝良好 A → 劣化 C

(2) 利用状況等

歴史文化財センターには、常勤・非常勤併せて9名の職員が在籍しています。来館者は主に開発等業者による相談や手続きがほとんどで、文化財所有者等が相談に訪れることもあります。

栗佐分室は収蔵庫として使用されており、歴史文化財センター職員以外の出入りは皆無です。

上山田分室は、歴史文化財センターの移転先として現在は建物管理業務が主なため、歴史文化財センター業務に関する来館者はほとんどありませんが、上山田戸倉市民窓口係には1日当たり20人程の来庁者がいます。また、六ヶ郷用水組合ならびに長野県農業共済更埴支所へは平均して日に10人前後の来客があります。

6. 対策内容と実施時期（実施計画）

(1) 再配置に関する基本方針

平成31（2019）年3月に策定した千曲市公共施設再編計画で示したとおり、歴史文化財センター上山田分室に歴史文化財センター及び収蔵庫としての栗佐分室の機能を集約させることとしますが、不足する埋蔵文化財の収蔵庫の設置を検討します。

(2) 保全に関する基本方針

歴史文化財センター上山田分室は、平成24年度に耐震診断を実施し、大地震にも耐えうる耐震性を有していると診断が出ていますが、歴史文化財センターの移転に当たり、多くの資料を収蔵する必要があることから、長期荷重に対する調査が必要となります。また、建設から40年以上が経過し経年劣化も進んでいることから、定期的に劣化度の調査を行い、長寿命化に必要な措置を講じていきます。特に、正面入口階段については、早めの措置が必要と思われます。

(3) 工程表

施設名	建物名	建築年度	耐用年数	計画期間 (年度) 上段: 対策内容 下段: 対策費用 (単位: 千円)										対策費用合計	対策により期待される効果	
		経過年数	目標使用年数	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030			
歴史文化財センター	本館	S51	50			実施設計	除却									総量削減
		45	-			2,500	22,680							25,180		
	付属棟	S51	31				除却									総量削減
		45	-			同上	1,512							1,512		
	自転車置き場	S51	31				除却									総量削減
		45	-			同上	480							480		
千曲市役所粟佐分室	S45	50			実施設計	除却									総量削減	
	51	-		3,000	123,000								126,000			
歴史文化財センター 上山田分室	本館	S52	50			実施設計	改修									機能移転による総量削減
		44	80		10,000	45,000							55,000		目標使用年数までの機能維持	
	倉庫	S44	38							点検・調査						目標使用年数までの機能維持
		52	80							540				540		
	収蔵庫	-	-			調査・設計	新設									資料収蔵場所の確保
		-	-		10,000	未定								10,000		
対策費用合計				0	23,000	170,500	24,672	0	540	0	0	0	0	218,712		

※令和3年度(2021年度)は決算見込額、令和4年度(2022年度)は予算額、令和5年度(2023年度)以降は計画額

(4) 対策費用

【歴史文化財センター】(機能移転に伴う廃止)

R5(2023)年度: 2,500千円 除却工事実施設計

R6(2024)年度: 24,672千円 除却工事

【千曲市役所粟佐分室】(機能移転に伴う廃止)

R4(2022)年度: 3,000千円 アスベスト調査(1,000千円)/除却工事実施設計(1,000千円)/
廃棄物処理(1,000千円)

R5(2023)年度: 123,000千円 除却工事

【歴史文化財センター上山田分室】(機能移転に伴う大規模改修)

R4(2022)年度: 20,000千円 本館大規模改修実施設計(10,000千円)/
収蔵庫新設調査・実施設計(10,000千円)

R5(2023)年度: 45,000千円 本館大規模改修工事(45,000千円)/収蔵庫新設工事(未定)

R8(2026)年度: 540千円 倉庫劣化度調査

7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

(1) フォローアップ及び実施体制

本計画の進行管理は、施設の所管課である歴史文化財センター及び総務課が行い、歴史文化財センターが取りまとめを行います。

毎年度の取組状況は、千曲市公共施設等総合管理計画推進本部において点検し、議会へ報告するとともにホームページ等で公表します。

(2) 改訂に関する考え方

「千曲市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りつつ、国の動向等社会情勢の変化を把握しながら5年ごとに見直しを行います。更に工程表は、計画の実現性を高めるため、毎年度ローリングします。

千曲市公共施設個別施設計画

歴史文化財センター編

令和3年3月策定（毎年度更新）

千曲市総務部財政課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026-273-1111(代) FAX 026-273-1004

E-mail : zaiseika@city.chikuma.lg.jp

（本計画を策定した課・施設所管課）

千曲市教育委員会 歴史文化財センター